



### 小峰城石垣再生への歩み

## 搦手門跡石垣の積み直しを開始

文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310



▶調査・解体が終了した搦手門跡

▶写真と比較しながらの石積み作業

本市のシンボル小峰城。東日本大震災で石垣が崩落し、現在、修復作業を進めています。「小峰城石垣再生への歩み」では、修復作業の様子や再生に向けた取り組みをお知らせします。

小峰城の北端に位置する搦手門跡石垣の解体が終了し、昨年12月から積み直し作業が始まりました。作業は、できるだけ正確に元の姿に修復するように、震災前の写真と比較しながら慎重に進めています。

積み直す石材（震災で崩れ落ちた石材や今回の工事で解体した石材）は、事前に再利用が可能なかどうかの判定や特徴の観察、大きさの計測などを行いました。今回の調査で、江戸時代に少なくとも三度、積み替えが行われていたことが確認できました。

搦手門跡の石垣をはじめ、これまで行われた石垣の解体・調査で、修復の歴史や特徴などが徐々に明らかになってきています。



## 地域の野菜を食べて気軽に健康づくり

～いきいきと健やかで明るい笑顔があふれるまち～

市では、市民の皆さんに地域産の野菜などに関心を持ち、食べて健康になってもらうため、関係機関と連携して健康レシピメニューの開発を行っています。今月号では、市内の新たな取り組みをお知らせします。

本庁舎商工課 ☎1111 内2246

### 地域に根差した健康メニュー

地域の農産物を活用した健康づくりを推進する事業などに対し、農林水産省では「医福食農連携事業」として補助をしています。これを活用し、県立医科大学医学部長の錫谷氏をはじめ、地域の管理栄養士、食品関連事業者、農業生産者など各分野の専門家と市が連携して白河医福食農連携推進協議会（吉田孝二会長）を立ち上げ、農産物を活用した健康レシピメニューの開発を行っています。



地域には栄養価が高く様々な効果がある優れた野菜が豊富にあります。収穫してから時間がたつほど味や効果が落ちると言われています。そのため、採れた野菜を各家庭で素早く調理して食べることで、健康に必要な栄養素を多く取り入れることができるよう、「気軽に・楽しく」続けられる健康レシピメニューの提案も行うこととしています。

### Interview

#### 健康長寿を目指して

不適切な食事は、生活習慣病の原因になることが知られています。白河市民は全国平均に比べ、高血圧や糖尿病の人が多くという統計があります。これらは、カロリーや塩分の取り過ぎと密接に関係していて、まさに不適切な食事が引き起こす疾患です。



白河医福食農連携推進協議会 副会長 錫谷達夫さん（県立医科大学医学部長）

また、原発事故後、子どもたちの運動不足が顕著で、福島県は全国でも肥満の子どもの多い傾向になっています。このような生活習慣病予備軍の増加を抑え、健康長寿を実現するため、地域の食材を使った正しい食事の提案に取り組んでいきます。

### Information

#### 健康レシピメニュー説明会

地域の農産物を使用した健康レシピメニュー説明会を開催します。また、泉崎村出身で料理研究家の本田よう一氏を特別ゲストに迎え料理講習会も行います。

野菜をたっぷり使い、素材の味をいかした味付けで、だれもが楽しめるレシピを学んでみませんか。



- 日時 3月15日(日)午後1時30分～3時30分
- 会場 中央保健センター（北中川原）
- 定員 100人 ※事前に申し込みが必要です。
- 入場料 無料
- 申込期間 2月5日(木)～3月5日(木)
- 申し込み・問い合わせ先 白河医福食農連携推進協議会事務局（株）しらかわ五葉倶楽部内 ☎8491

## 歴史と伝統を活かしたまちづくり「れきしら広報白河編」！ vol. 5

本庁舎まちづくり推進課 ☎1111 内2747



### 市神祭が白河だるま市に

だるま市のルーツを探ると、白河結城氏が治めていた中世にたどり着きます。史料によると、白川城西側の八竜神地区周辺に「五日市場」、「十日市場」の地名があり、5と10のつく日に「市」が行われていたものと推測されます。



寛永4年(1627)に白河藩が成立し、初代藩主の丹羽長重によって、小峰城と町屋の大改修が行われました。町屋は、小峰城をカギ型に取り囲むように築かれ、奥州街道沿いの天神町、中町、本町、横町、田町は、「通り五町」と呼ばれました。通り五町ではそれぞれに「市」が行われ、武家や町民、周辺農村の人たちでにぎわいました。

特に盛大に行われたのが、年初めの市の神をまつ中町の「市神祭」でした。縁起物の正月飾りなどが売られ、そのほかにも、造花が売られたことから「花市」とも呼ばれました。後に、売り物の中心がだるまとなり「だるま市」と呼ばれるようになりました。

### 春の訪れを告げる「白河だるま市」

立春を過ぎた2月11日(祝)、まだ厳しい寒さが残る白河のまちは、伝統行事「白河だるま市」のにぎわいに包まれ、春の訪れを感じ始めます。

だるま市は、天神町・中町・本町の旧奥州街道沿いの約1.5kmで行われます。当日は、約700店の露店が立ち並び、縁起物の白河だるまなどを買い求めようと、約15万人の人が訪れます。

今回は、この「白河だるま市」の由来を紹介いたします。